2020 年 9月 17日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻7561号　第 53号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(1)

SSTK

さくら草だより

発行人:埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0851
川口市芝新町15-9アステール藤野1階
電話:048-225-1625　頒価:50円

編集人:社会福祉法人さくら草
〒336-0015　さいたま市南区太田窪3501-2
HP:http://www.sakuraso.net/ 電話:048-813-7426
Fax:048-8866301 E-mail:info@sakuraso.net

＊いぶき夏祭り２days＊

『何か楽しいイベント、したいなぁ・・』
コロナの影響で軒並みイベント事は見送りとなっていましたが、配慮しながら8月も終わりの頃に”いぶき夏祭り”決行しました。

浴衣に甚平、ハッピ、和太鼓、みんなで作ったお神輿にちょうちん！
雰囲気十分に楽しみました＊

お祭り衣装に身を包み、
気分も上々↑↑＊＊
みんな似合うネッ(^

今年はピニャすいか割り！
宙に浮くスイカ割りって
斬新でしょう？

いぶきお手製＊お神輿＊
(ほとんどダンボールで
出来ているんですよ～)

ドンドンカッ!!・・
「誰?だれ～??」二度
見するほどの腕前を見
させてもらいました＊

日課で作ったピニャータ＆ちょうちん＊
ちょうちんは利用者さんと職員の全員分を
飾りました＊＊

＜デイセンターいぶき　鈴木ょ＞

広報誌の封入作業は　デイセンターさくら草・アトムが担当しています

2020年9月17日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻7561号　第53号
ＳＳＴＫ　１９８３年７月１９日第三種郵便物承認(2)

デイセンターアトム

アトム班＆コスモス班

8月1日よりデイセンターさくら草あんくじ班より主任兼サービス管理責任者として春田幸恵さんがデイセンターアトムに異動となりました。春田さんよりメッセージをいただきましたので、掲載させていただきたいと思います。
◎８月よりデイセンターさくら草からデイセンターアトムに異動となりました春田幸恵です。さくら草に入職して間もなく11年になりますが、新しい環境の中で毎日いろいろ刺激を受けているところです。
慣れるまでもう少し時間がかかりそうですが、利用者の皆さんとの時間を大切に日々過ごしていきたいと思っております。
ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、皆さんよろしくお願い致します。

今年度に入り新しく入職された職員が複数名います。本来であれば家族会の際などに紹介ができれば良かったのですが、新型コロナウィルスにより生活様式等も変わり紹介ができていない人もいますので、ここで紹介をさせて頂きたいと思います。（上段アトム/下段コスモスとなります。）

三上真由美です。一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

神奈川留美子と申します。よろしくお願い致します。

小笠原美和子です。みなさんと楽しく過ごせるよう頑張ります。

齋藤浩和６０才還暦です。何卒　宜しくお願い致します。

保角直です。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

◎今年度は５名新しく入職されました。大変な状況下の中、慣れない環境での日々の仕事ありがとうございます。今後とも末永くよろしくお願いします。

昨今のコロナウィルス情勢で予定されていた行事が中止になることが多く、各班での活動がメインとなっております。各班で、さまざまな感染予防対策を敷き、班内でのイベントなどを行っております。新しい生活様式に戸惑うこともありますが、職員一同力を合わせ、支援にあたっていきます。ご家庭の方にもご協力をお願いすることもあり、ご迷惑をおかけしています。改めまして、この場で御礼申し上げます。（出口・鈴木）

デイセンターアトム

２０２０年９月１７日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻7561号　第53号
SSTK 1983年　7月19日　第三種郵便物承認（３）

さくら草グループホーム

てんハウスぐりん　クローバーハウス合併号

これまで『ぐりん』、『クローバー』個々に、それぞれの様子を紹介してきましたが、今号はさくら草グループホーム初の合併号です。大所帯で賑やかな『ぐりん』、少人数でアットホームな『クローバー』二つのグループホームの近況をお伝えします。

～てんハウスぐりん～

ぐりんに待望の新職員が入りました！！

自己紹介：小塚　忍
さくら草に入って8年になりますが『ぐりん』の職員としては1年目なので気持ちも新たに頑張ります。どうぞ宜しくお願いします。

今年度『ぐりん』では新型コロナウィルスの感染拡大の為、食堂で利用者の皆さん、職員が集まることは密集になると考え、残念ながら一切の行事が行われていません。今号は昨年のクリスマスの様子をお伝えしながら皆さんが楽しみにされているクリスマス会開催を願いたいと思います。

ぐりん 勢ぞろい

ぐりんマスコット名前募集！

長きの間ぐりんの食堂のソファに座っていたこの子まだ名前がありません。ぐりんに相応しい名前をつけてください。

仮装した宮本職員、黒坂職員と笑顔の天沼さん

黒坂サンタからのプレゼントに嬉しそうな梅原さん

～クローバーハウス～

今年度は新型コロナ感染の広がりの為生活も一変しました。クローバーハウス利用者の皆さんも長期の欠席が続き、いつもは女性4人おしゃべりが絶えない賑やかなホームも寂しい場所になりました。しかし自粛期間の前後にお二人の誕生日会を開催できたことは利用者さんだけでなく職員にとっても嬉しい出来事でした。今号はその様子をお伝えしたいと思います。

クローバーハウスの誕生日会はお祝いの歌を歌って夕食メニューを誕生日を迎えた方の好きなメニューにしています。それに女子ならではの甘いものは別腹！好きなケーキでお祝いです

4月9日木内さん誕生日会

7月21日齋藤さん誕生日会

写真は少し苦手な齋藤さん
恥ずかしそうに後ろに
下がってしまいました

木内さんも齋藤さんも
苺のケーキを選びました

さくら草グループホーム（高橋）

２０２０　年　９月　１７日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻７５６１号　第５３号
ＳＳＴＫ　　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(4)

新しい生活様式の新しい支援様式

サポートさくら草は、学校とも通所施設とも違います。それぞれの学校に通いそれぞれの通所施設に通う皆さんの、社会参加のお手伝いをするところ。それがサポートさくら草なのです　障がいがあってもなくても、学校には通うしお仕事にも行く。家庭とも学校とも職場とも違う形での社会参加や人との関りを形成していくきっかけとなりたい、との思いでサポートさくら草は運営されています。

　それなのに今回、新型コロナの影響で人と人との直接的な関わりが難しくなってきています。他校や他施設の人たちが知り合い新たな人間関係を築く。一緒に食事や外出を行い、豊かで多様な関係を築くお手伝いをする場であったはずなのに。

　サポートさくら草でも現在、政府の新型コロナウィルス感染症対策専門家会議から発表された「新型コロナウィルス感染症対策の状況分析・提言」に盛り込まれた新しい生活様式に基づいた感染防止策を実施しています。
　手洗い・消毒・マスク着用・ソーシャルディスタンスの確保以外にも介護・支援の際に留意しているポイントがあります。
　食事介助の際には必要最低限の声掛けにとどめています。食事介助の際にはソーシャルディスタンスがとりにくい上に、食事をする利用者さんはマスクの着用が出来ずに無防備にならざるを得ないからです。
　さらに食事介助の際には正対せず、横や斜めに並んで介助するように工夫をしています。そして食事時には介護者同士の会話は極力控えめにしています。食べ物や飲み物、おやつ等のシェアも行いません。
　大きな声での会話や歌などは飛沫拡散や感染防止の観点からも控えています。室内は常に対角線で窓を開け、扇風機を利用し空気の循環を促し換気を行います。暑い季節には熱中症の危険も避けなければいけないため、エアコンを全力で稼働しながらも換気に努めます。
　移動中は車内換気のため対角線で細く窓を開けエアコンをフル稼働します。それ以外にも排泄介助や入浴介助・更衣など、密接に近づかなければ出来ないことばかりなのが介護です。

　何を行うにもまず声掛け。これからの行動を説明して声掛けして、心の準備をしてもらい、それから実際に働きかけるのが基本だったはずなのに、それが根底から覆されるような不安におちいります。新型コロナウィルスは介護や支援のありかたをもう一度見直さざるを得ない状況にさせました。感染防止を行いながらも、利用者の皆さんの社会生活の豊かさを損なうことのないように試行錯誤し続けようと思っています。

サポートさくら草　佐々木千恵

２０２０　年　9月17日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻７５６１号　第５３号
ＳＳＴＫ　　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(5)

仲間が増えました！

今日の外出支援はNくん、Ｋくん、Ｙくんとヘルパーの３人で大宮公園にある小動物園までお出かけ。途中、雨が降りゆずで雨宿り。天気が不安定だとこんなこともよくありますが、ヘルパーさんたちは柔軟に対応してくれます。７月から利用が始まったばかりのNくん、Ｋくん、Yくん。たくさんお話をしてくれて、みんなニコニコ笑顔。成人を迎えた利用者さんが多かったゆずですが久しぶりに学生さんが増えました。この日Nくんを担当した田口まささん。(写真右）ゆずにきて5年目になります。楽しいことも時には大変なこともありますが、とてもやりがいのある仕事。仕事前、自分に元気がなくてもゆずに来ると利用者さんからパワーをもらえるそうです‼Yくん担当の新保明さんはゆずにきて1年と少し。利用者さんの笑顔に毎回癒されているそうです。利用者さんから手を差し伸べてくれると嬉しいそうですよ‼Ｋくん担当の長谷川英美子さん(写真左）はゆずにきて１４年目の大ベテラン！利用者さんと外食するのが楽しい！特に焼肉だと嬉しいそうですよ。焼肉みんな大好きですよね～。こんな世の中ですが、ソーシャルディスタンスに気をつけながら外出していけたらいいですね。仲間の増えた新しいゆず。これからもどうぞよろしくお願い致します。

〒３３６－００４２
さいたま市南区大谷口１５８４－１
TEL０４８－８１３－５２６１
FAX ０４８－８１３－５２６３

サポート　ゆず
（阿部）

２０２０年　９月１７日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻７５６１号　第53号
ＳＳＴＫ　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(６)

【　事業報告　および　事業計画　】

昨年度は、全国的に水害に見舞われた年でした。さらに深刻なのは、現在も続くコロナ禍です。ワクチンも治療薬も未だ開発途上にあります。密が支援の常態である福祉施設が感染防止策に汲々としながら不安な日々を過ごしている現状です。
ウィズコロナの中で利用者の安心安全を護りながらも生活を支援し継続していく難しい対応が求められています。そのなかで障がい者支援の歩みを止めるわけにはいきません。
　当法人には無認可施設時代から30年以上利用されている方もいます。親子の年齢が80/50となり、在宅介護の限界を迎え入所施設に送らざるを得ない方が数人ありました。また在宅生活に困難や不安を抱える状況が深刻化してきている現状もみえていました。
地域で継続して生活できるように総合的な支援体制を構築してきましたが、突然襲ってくる深刻な現状を受けとめる整備が追いついていません。
　重心・知的障がいの方の地域生活の暮らしの場（グループホーム）、緊急時に応える短期入所、医療的ケア等障がいの重い方の拠り所となる通所施設等は既にありますが、さらに増設が求められています。それに支援調整する相談支援・地域福祉向上に資する生活支援センター機能の拡充、そして親亡き後も見守り続ける身上監護（成年後見制度）を整えていくことが課題として突き付けられています。
手始めに地域生活を支える暮らしの場づくりを検討するところから一歩ずつ取組んでいきます。

コロナ禍の影響で、8月の評議員会で事業報告が漸く承認されました。以下に2019年度事業報告並びに2020年度事業計画の要約を報告します。

・新規事業所開設

知的障がいの方を対象にした生活介護事業所「デイセンターかりん」を開設しました。「サポートゆず」も移転し、さいたま市南区大谷口に建物の名称を「ゆかりの森」として開設しました。利用者は、思いのほか直ぐに新たな環境に馴染んでもらえました。この地に受け入れていただき交流を深め、活動ができることを願っています。建てていただいた地主様に感謝申し上げます。

・支援の質の向上および人材育成

当法人の「権利擁護憲章」を制定しました。対人サービスを行うに際しての倫理綱領や虐待防止の考え方も入れた職員の活動指針です。現在、各事業所で浸透をはかり支援の質の向上に取り組んでいます。
また法人の一体的な運営に向けて職員待遇について前年度は月給制に、今年度は週40時間制に統一しました。事業所間の異動を積極的に行い人事交流による一体的運営に努めます。更に人事評価を実施し人材育成に努めていきます。

・2019年度決算

サービス活動収益　840,620千円（前年比104,7%）　サービス活動費用　835,710千円（前年比106,6%）サービス活動増減差額4,910千円　開設間もない事業所で利用者数が増加し単年度黒字を計上したところもありますが、人員確保に苦慮し、配置基準を下げたことで収益が下げた事業所、またヘルパー不足により依頼を受けきれなくて収益が伸びなかった事業所がありました。
「収益性」は低いものの、積立試算があり「短期安定性」、負債の割合の低さから「長期安定性」もあると税理士法人から評価を頂いています。
その中でも人件費割合を77.8%と高い水準で待遇向上に努めてきました。因みに2019年正職員46人（時短・年度途中の採用退職者を除く2年目以上14年）の平均年収は五百万超でした。
知識技術を磨き資格を取得し、職業人・社会人として成長し、利用者に永く寄り添ってもらいたいと願います。

（山本）

編集後記

コロナ渦の中、みなさんどうお過ごしでしょうか？私は、最近流行りの筋トレブームに乗っかってみましたが、まだ体にも脂肪が乗っかったままです。
（R・D）

✽さくら草だよりは晃新印刷さまのご厚意を頂き印刷しております✽